

会議・視察報告

「2019日本就業相談会 (J-Job)」(ソウル) 参加報告

ERINA 経済交流部経済交流推進員
蔡聖錫

2019年7月17日、韓日産業・技術協力財団 (KJCF) の主催により韓国・ソウルで韓国青年人材と日本企業との就職マッチングを目指す「2019日本就業相談会 (J-Job)」が行われた。ERINA は2008年に KJCF と交流協力協定を結んでおり、この協定に基づき日本企業への案内、参加誘致、随行などの協力・支援業務を行っている。昨年は「日本就業博覧会」という名称で、大韓貿易投資振興公社 (KOTRA) などと共催で開催されたが、今年は、KJCF 単独の開催となった。

1. 開催までの経緯

この就職マッチングは韓国での青年人材の就職難を背景に (表1参照) 2016年から行われており、KJCF の依頼により、ERINA は新潟県をはじめ出捐県の企業を中心に、韓国人材の採用に関心がある企業の募集を行っている。表2に記載の通り、基本的には年1回ソウルで開催するが、昨年は大韓貿易投資振興公社 (KOTRA) などとの共催でソウルと釜山で2回開催された。

ちなみに、ERINA は2005年から新潟県内企業と外国人留学生を対象とした就職相談会「国際人材フェア・にいがた」を開催してきており、企業における外国人採用に関してはノウハウが蓄積されている。KJCF からの協力依頼にもこれらのノウハウが活用されている。

表1 韓国青年 (15~29歳) 失業率の推移

年	失業率 (%)
2016	9.8
2017	9.8
2018	9.5
2019	10.3

(出所) 韓国統計庁『経済活動人口調査』

2. 開催概要

- ・主催: 韓日産業・技術協力財団 (KJCF)
- ・日程: 2019年7月17日 (水)
- ・会場: INTERCONTINENTAL SEOUL COEX ホテル
- ・対象企業: 製造業、サービス業、IT など
- ・参加費用:

項目	内容
参加費	無料
交通費	日本から韓国までの航空券、1社1名に付き実費支援 (上限6万円まで)
宿泊費	1社1名に付き、2泊無料
食事代	昼食を提供

※ KJCF が費用支援

3. プロセス

(1) 準備段階

- ①日本企業が ERINA に参加申込書 (求人票含む) を提出 (4月~5月24日)
- ②韓国側で求人票に沿って人材を募集 (~6月21日)
- ③日本企業は応募者の中から面談の相手を選定 (6月24~28日)
- ④面談スケジュールの作成 (~7月5日)

- ⑤就業博覧会にて面談を実施 (7月17日)

(2) 開催当日

事前に作成したスケジュール通りに面談を行う。基本的には日本語で面談を行うが、日本語を要求しない企業については英語や韓国語などで面談するところもあった。面談時間は基本的に一人30分、朝10時から午後5時まで、昼食時間90分 (12時から13時30分まで) を除くと、1社が1日に最大11回の面談を行うことができる。

4. 参加実績

今回は日本企業50社と求職者97人が参加し、計208回の面談が行われた。

都道府県別の企業数については、東京都の企業が21社で最も多く、大阪府と広島県の企業が各4社、新潟県と福岡県の企業が各3社、北海道、神奈川県、兵庫県の企業が各2社、ほかには埼玉県、千葉県、富山県、岐阜県、静岡県、愛知県、奈良県、和歌山県、大分県の企業が各1社であった。

業種については、製造業が19社で一番多く、IT 関係が16社、人材紹介 (派遣)

表2 2016年から今までの開催履歴

開催日	名前	場所	参加企業数	主催者
2016年 10月28日 (金)	2016年度韓国青年人材日本企業採用相談会	ソウル市 (ロッテホテルソウル)	29社	KJCF
2017年 9月28日 (木)	2017年度韓国青年人材日本企業採用相談会	ソウル市 (ロッテホテルソウル)	32社	KJCF
2018年 11月5日 (月)、 11月7日 (水)	2018日本就業博覧会	5日:釜山市 (BEXCO) 7日:ソウル市 (ロッテホテルワールド)	釜山: 100社 ソウル: 112社	KJCF、韓国雇用労働部、大韓貿易投資振興公社 (KOTRA) など
2019年 7月17日 (水)	2019日本就業相談会	ソウル市 (ロッテホテルソウル)	50社	KJCF

写真1 面談待ちの求職者



(出所) ERINA 撮影

写真2 面談中



(出所) ERINA 撮影

業が6社、卸売・小売業が3社、建設業、飲食・宿泊関係が各2社、金融業とサービス業が各1社であった。

ERINAが随行した3社のうち業種別では、IT企業2社(A社、B社と称す)、製造業1社(C社と称す)の構成であった。結果として、IT企業A社は1人、B社は7人、製造業C社は5人の求職者とそれぞれ面談を行った。

ERINAが案内した企業にヒアリングしたところ、参加理由については全員が「人手不足」を主な理由に挙げた。他には「海外取引への対応」、「海外事業の拡大」などの回答があった。また、最近の日韓関係

の問題については「影響がない」、「あまり意識していない」との意見であった。

5. 追記

8月下旬にKJCFより、2019年9月26日に第2回目の「2019日本就業相談会」を開催するとの連絡があった。KJCFが第1回の「2019日本就業相談会」に参加した企業の中から、

- ・採用決定もしくは採用予定がある企業
- ・採用決定したが応募者から辞退された企業
- ・KJCFが2019年9月25日に開催するもう一つのイベント「2019韓日ビジネ

ス商談会」に参加する企業を対象にもう一度開催するというものである。また、前回と同様にKJCFは参加企業に対して渡航費と宿泊費の支援を行うとしている。すでに前述のIT企業A社が参加希望を表明しており、2回目には、より多くの求職者と面談が実現し、良い結果に繋がることを期待し、ERINAも協力することとしている。日韓関係の悪化による様々な事象におけるマイナスの側面ばかりが伝えられる中、このような日韓双方のニーズに則した地道な取組も進められていることに注目したい。